

特別編 水害特集

8月の非常食情報は、特別編として過去に掲載したマンガを厳選して掲載いたします。

今回は「水害特集」です。

年々大型化する台風、そして大規模な水害によって、「数十年に一度の災害」が毎年のように発生するようになりました。水害はある程度予測できますので、「早めの避難」を心がけましょう。



書籍「早わかり防災マニュアル」

日本出版制作センターから好評発売中！

- B6変形判・236頁
- 定価：本体1,650円（税込）

日本出版制作センターの書籍販売サイトもどうぞご利用ください！

<https://www.center-net.jp/sales>

タイムラインとは？

タイムライン防災って何？ 今までの防災とどう違うの？

台風などの予測できる災害に対して「いつ」「誰が」「何をするか」を決めた時間割表みたいなものです

こんな感じ・・・

時間	やること
36時間前	避難の開始
36時間前	避難所開設
36時間前	避難勧告発表
24時間前	交通機関ストップ
12時間前	緊急避難の呼びかけ
台風上陸	全員避難

とくに変わったことはしてないけど？

今まで「状況を見て判断」だったのを「時間がきたら行動」にしたのがポイントです

なるほど！ 混乱しないので早めに行動できるんだな

電報と電線、タイムライン、さうそう！

いつ避難するか、電報と電線、タイムライン、さうそう！

避難所開設、避難勧告発表、緊急避難の呼びかけ、全員避難

避難所開設、避難勧告発表、緊急避難の呼びかけ、全員避難

こまめにチェック

ねー せっかく家族でお出かけなんだからスマホは・・・

屋外活動中は災害情報のチェックをしましょう

災害情報を見てるんだよ

天気予報は晴れだったけど最近ゲリラ豪雨も多いし

川の上流で雨が降ったら下流も増水するから

電線とか強風も注意した方がいいよ

災害情報をごまめに確認するにはスマホの防災アプリがおすすめです。何種類かダウンロードしておくとう便利です。

スマホを持っていない人は携帯ラジオなどで情報収集をしましょう

さすがねー

車の水没と避難

この間の豪雨で水没した車も多いみたいだね

津波や洪水に限らずゲリラ豪雨でも自動車は水に浸かることがあります

人ごとはありません

ドアの下あたりまでの水位ならなんとか走れますがマフラーやエンジンまで水が入ると動けなくなります

さらに水位が上がると閉じ込めの危険もあります

命も助かりたいけど愛車も守りたいなあ

豪雨や台風なら比較的前もって予測できるので早めに高台などに避難するのが有効ですよ

まずは情報収集を！

土のうを用意しよう

これからは今まで浸水したことない土地も被害に遭うかもしれないんだってね

小規模な水害なら自宅でも対策できますよ

まずは土のうを用意しましょう！

そうです！ホームセンター等で購入もできますが自治体でも配布していることがあります

土のうって袋に土を詰めるアレ？

①袋に土を入れ

②ひもで固く口を縛って完成！

7～8割がめやす

簡単だけど数が多いと面倒だしけっこう力仕事だね...

土のうって何か水のう？

土のうで浸水を防ごう

土のうは土砂の浸水を防ぐために使います

玄関の前などにすき間なく積み上げる

長い板やテーブルを利用する

レジャーシートを巻き込む

大きめのゴミ袋などのビニール袋を利用して水のうは段ボールに入れて使うと効果的

土を入れたプランターやポリタンクも代用になります

半分くらい水を入れる

トイレや排水溝からの汚水の逆流にも水のうは使えます

あくまで水深の浅い段階での対策なので水位が上がると避難行動に移って下さい

置くだけ！

線状降水帯とは

最近、集中豪雨の原因として問題となっているのが線状降水帯です

横に細長く伸びた雲のことだね

線状降水帯は積乱雲が連続して発生し列になったものです

積乱雲ってことはゲリラ豪雨と同じ？

そう！ゲリラ豪雨なみの雨が時に3時間も降り続けます

原因のひとつは「バックビルディング現象」といって次々と新しい積乱雲が発生する現象です

バックビルディング現象

とりあえず気象情報で線状降水帯が出てきたら要注意だねー